

# 作業補足シート

7 : 1 6

分野	配線施工	作業名	パーマネント・リンク施工
目的	<p>OAフロアにおけるパーマネント・リンク施工を行う。</p> <p>OAフロアに設置されたラック（パッチパネル）から通信アウトレット間のパーマネント・リンク施工を行う。</p> <p>※ケーブルの両端はモジュージャックとなる。</p>		
工程	ポイント		時間 (再生位置)
1. 配線ルートの確認	<ul style="list-style-type: none"> <li>作業に入る前にフロア配線盤、通信アウトレットの位置、ケーブルを敷設するルート、ケーブルの立ち上げ位置、フロアパ熱を取り外す場所を確認する。</li> <li>また、電力線の位置も考慮し、規定以上の離隔距離を確保する。</li> </ul>		0 : 2 6
2. フロアパネルを取り出す	<ul style="list-style-type: none"> <li>吸盤器を使用し、配線するルートのフロアパネルを取り外す。</li> <li>敷設するケーブルの本数により、取り外すフロアパネルが配線するルート直線部の出入口のみか、配線ルート全てかを検討する。</li> <li>取り外したフロアパネルは安全や作業を考慮して配置する。</li> </ul>		0 : 4 0
3. ケーブルの通線	<ul style="list-style-type: none"> <li>配線は、ケーブルを送り出す側と引く側それぞれに人を配置する。</li> <li>ケーブルに無理な張力がかからないようケーブルを送り出しつつ、ゆっくりと引く。</li> <li>通線後、ケーブルの余長を十分確保しカットする。</li> </ul>		1 : 0 7
4. フロアパネルを戻す	<ul style="list-style-type: none"> <li>ケーブルを挟み込まないように注意し、フロアパネルを元に戻す。</li> <li>ラック下部の開口部からケーブルをラック内に引き込む。</li> <li>引き込み後、フロアパネルを戻し、ラックを所定の位置に設置する。</li> </ul>		1 : 2 5
5. 配線両端のモジュージャックの成端	<ul style="list-style-type: none"> <li>敷設したケーブル両端のモジュージャックを成端する。</li> <li>ラック側モジュージャックはパッチパネルに取り付ける。</li> </ul>		2 : 4 3
6. パーマネント・リンクの性能評価	<ul style="list-style-type: none"> <li>施工したパーマネント・リンクの性能試験を行う。</li> </ul>		6 : 5 1
使用器具	<p>パッチパネル（ラック内）、圧着工具（日本製線 NST88）ニッパ、ケーブルストリッパ（日本製線 NSWST-M）、成端工具（日本製線 NSTOOLB）</p>		

使用材料	Cat.6 UTP ケーブル、Cat.6 モジュラージャック (日本製線 NSJ6)、Cat.6 モジュラージャック (日本製線 SHBOX1-6KIT)
最終更新日	2022/03/07